

改善テーマに応じた 分析スキル習得セミナー

～ 適切な分析で改善スキルが格段にアップする! ～

開催日時 2026年 7月10日(金) **オンライン**
 2027年 2月19日(金) **オンライン** 各回とも 10:00～17:00

対象

- 製造部門の中堅社員～管理者
- 生産技術部門の中堅社員～管理者
- 品質管理・保証部門の中堅社員～管理者
- その他、改善をしっかりと学びたい方

講師 峯村 隆久 氏
 (株)セフィーロ 代表取締役社長
 人・組織GIコンサルタント

参加料(税込) 法人会員：55,000円/1名
 会員外：60,500円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのねらい

職場で行うべき改善テーマは、不良削減、故障削減、コストダウン、業務改善(効率化)… などさまざまです。効果的に改善を行うためには、改善テーマに応じた手法を適用することが理想ですが、すべての手法を習得することは困難です。

実は、改善における「分析」のコツを習得できれば、自分を取り組もうとしている改善テーマにあわせて、適切に改善を進められるようになります。

本セミナーでは、どのような改善テーマでも効果的な「分析」ができるようになり、めざす成果獲得につなげることができることをねらいとします。

職場単位で行う改善活動の主なタイプ

タイプ	代表例	改善手法	分析のポイント
タイプ1	問題の発生を抑制する(再発防止)	問題解決	発生原因を追究する
タイプ2	対象を小さくする(削減)	要素改善	構成要素と問題発生頻度の関係性を明らかにする
タイプ3	よりよい状態を創出する(改善)	改善	改善の方向性を明確にする

論理的な改善のための分析スキル

論理的な思考法(ロジックツリー)を分析に活用する

改善手法ごとの分析視点と対策立案

改善活動の基本ステップと2段階の分析

■ プログラム 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 改善における分析の意義とポイント

- ① 改善における分析とは
- ② 職場で取り組む改善テーマと2つの改善手法
 - 問題解決 … 原因追究をする分析
 - 要素改善 … 改善対象の構成要素を明らかにする分析
- ③ 論理的な改善のための分析スキル
 - ロジックツリーで論理的な分析
 - 改善検討・実施のステップと2段階の分析

2 問題解決(不良・故障・ミス低減…)の分析

- ① **Step1** 改善対象を確定させるための分析
 - 件数をカウントできる問題の分析
 - 発生頻度の少ない問題の分析
 - 演習** 別問題を切り分ける
- ② **Step2** 改善のねらい目を明らかにするための分析
 - なぜなぜ分析を論理的に行うポイント
 - 演習** 適切ななぜなぜ分析をやる

3 要素改善(コストダウン・効率化・期間短縮…)の分析

- ① **Step1** 改善対象を確定させるための分析
 - コスト実績分析で改善対象費目を定める
 - 業務の棚卸しと業務量調査と改善対象業務を定める
 - 演習** 業務の棚卸しと業務量調査
- ② **Step2** 改善のねらい目を明らかにするための分析
 - タイムスタディー
 - 演習** タイムスタディーをやってみる
 - プロセスごとのムダ分析
 - 期間短縮のための分析

4 改善テーマに応じた改善立案

- 対策立案における問題解決と要素改善の対応の違い
- 改善目標が決まる分析(M-Mチャート・ピッチダイアグラム)
- 演習** ピッチダイアグラムを作成してみる

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。